

自 己 評 価					意見や課題
重点目標	評価指標	活動計画	達成度	評価	
多様な学びにより学習意欲の向上や専門的知識・技術を習得させるとともに、国際的視点と社会的実践力を育成する。	①ICT機器を活用した基礎学力の定着及び向上 学年末の意識調査で生徒の自己評価 80% 以上(学力向上) ②授業時間数の確保 授業振り替え率率(2学期末現在) 90% 以上 ※授業振り替え率:(授業時数-自習時間/授業時数(教務課)) ③環境美化に関する意識の向上と実践 ゴミの分別を意識させ、ペットボトルやキャップのリサイクル活動を年間 2回以上 実施(特別活動課) ④資格取得者数 延べ数70人 以上(各資格取得担当) ⑤卒業時における生徒の進路決定率 100% 進路ホームルーム活動、進路ガイダンス等を学期に1回(年3回)実施(進路指導課)	・授業見学会を年間3回(学年1回)実施する 年度末に生徒の意識等に関わる調査を実施する ・学校行事の精選、授業の振替えを行い授業時間を確保する 1、2学期末考査後に授業の確保する ・生徒会によるゴミの分別、清掃状況の点検・評価を行う ペットボトルやキャップのリサイクル店に引き渡す ・刈払機講習会(1年生)、ビジネス文書実務検定(全学年)、漢字検定(全学年)、農業技術検定3級(2年生)等を実施する ・卒業後の進路について意識付をするため、進路ホームルーム活動や進路ガイダンスを実施する			
多様性への理解を深め個々の人権を尊重するとともに、主体的な規範意識の醸成を図る。	⑥全校集会を実施して基本的な生活習慣の確立、いじめを含む問題行動や交通事故の未然防止、頭髪服装指導を年間8回以上実施 ルールの意味を理解し自主的に遵守する 100% (生徒指導課) ⑦問題行動未然防止に係る外部講師等を招聘しての講演会を年 3回 実施する(生徒指導課) ⑧人権感覚を醸成するための人権学習ホームルーム活動を年間5回実施し、アンケートによる生徒満足度が 85% 以上(人権教育課) ⑨いじめや人権に関するアンケート実施 年間3回 実施(人権	・学校全体、学年、HRで効率的で公平な指導を行う カウンセリングマインドを持ち複数の教員で対応する ・ルール違反が見られた場合は、ルールの意味を理解させ自主的に守れるよう粘り強く指導をする ・携帯・スマートフォン安全教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室等を開催し問題行動をとらない意識を醸成する ・全教職員による学習指導案提示とアンケートの実施をする ・常時指導を行い、いじめや人権に関するアンケートを各学			

	教育課) いじめによる生徒間トラブル 0件 (生徒指導課)	期末に行い、未然防止に努め、発覚時には迅速かつ適切な指導を行う		
教育DX (デジタルトランスフォーメーション)を推進し、革新的で魅力ある教育活動を創造する。	全 般	⑩年3回の榎原棚田の保全活動 参加総人数15名以上 (農務課) ⑪販売実習 年7回以上 (農務課) ⑫地元産直市「よってネ市」での販売 農産物販売 年間35品目以上 (農務課)	・上勝町榎原棚田の保全活動に参加し地域の方と連携した農業活動の実践をする ・野菜・果樹・草花・加工品等の生産及び販売をする ・産直市で年間を通して継続的に販売をする	-----
	応 用 生 産 科	⑬6次産業化の取組を通して地域産業を支える力の育成農家や企業、地元NPO法人との連携活動 年10回 ユコウを使った商品開発(年1つ以上)及び商品の販路拡大、販売促進 (農務課)	・6次産業化実践教育ステップアップ事業を継承する ・ユコウ等のジャムやマーマレードの品質改良及び販売 地元NPO法人と連携し、野菜や果樹の栽培及び加工・販売 農家や企業と連携しユコウを使った商品の販路拡大及び商品の開発を行う	-----
	園 芸 福 祉 科	⑭草花を活用して地域の活性化を担う力を育成 交流学習の実施 年9回 地元NPO法人との連携交流活動 年9回 ジンリョウユリの保全活動 年2回 継代培養でジンジョウユリ株 100株以上の株分け	・草花の栽培をととして地域との交流を深める学習をする ・勝浦町内の施設等の花壇整備や小学校、保育園等との交流 ・学習及び各種イベントへの参加・協力 ・バイオ技術による希少植物ジンリョウユリ等の組織培養及び名西郡神山町への定植による環境保全活動	-----
		⑮様々な場面での1人1台タブレットの活用とホームページでの情報発信 全ての教科等でタブレットを活用 更新年間90回(45週×2回)以上 (HP担当)	・農業関係や各課・各科・部活動等でのタブレットの活用と情報の発信をする	-----
	教職員のコンプライアンス意識の高揚と働き方改革を推進し、地域とともに歩み続ける学校づくりに努める。	⑯学校行事への主体的な参画と生徒会・部活動の充実と活性化 学校祭・収穫祭の充実 各行事毎に生徒へのアンケートの実施と情報共有 各満足度80%以上 登校時のあいさつ、清掃運動 月1回実施 (特別活動課) ⑰会議資料のPDF化等を推進し、事務的な仕事の軽減を図り、18時までの退庁を励行 (働き方改革) ⑱ 外部講師を招聘してのコンプライアンス研修 年1回以上 職員朝会や隙間時間を利用してのコンプライアンス常時研修 20回以上 (コンプライアンス推進委員)	・学校行事の精選と生徒会を中とする計画的な企画・運営を実践する ・生徒会を中心とする登校時のあいさつ運動の実施する ・定期考査後、長期休業日中に積極的に繰越年休の取得を促す ・県教育委員会から外部講師を招聘して研修を行う ・県教育委員会からの通知や新聞記事を教職員に伝え、自分事として考えるように啓発する	-----